

2009年05月12日

お客様各位

日商エレクトロニクス株式会社
ソリューションパートナー事業本部
技術統括部 サポートグループ

MOS4.1.5-GA リリースのご案内

拝啓

貴社益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。

平素は格別なるご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、この度 MOS4.1.5-GA のリリースを弊社より開始させていただきます事をご案内申し上げます。

バージョンアップをご希望されるお客様は、下記内容をお読みの上インストールをご実施頂きます様、
宜しく願い申し上げます。

敬具

- 記 -

■対象のお客様

Mirapoint 6シリーズハードウェアモデル(※1)をご使用中で、かつ次の何れかの条件を満たす
お客様はバージョンアップが可能です。

- ・MOS4.0.x-GA、若しくはMOS4.1.x-GAで運用中のお客様
- ・購入から一年以内、若しくは保守契約を締結されているお客様

(※1) 6シリーズハードウェアモデル

RG160, RG600, RG6000, M600, M6000, S6000,

■MOS4.1.5-GAの新機能と変更点

<新機能>

MOS4.1.5-GAから新たに追加された機能はありません。

本リリースは、MOS4.1.4-GAの修正版リリースとなります。

<主な変更/修正項目>

MOS4.1.4-GA以降、次の項目が変更、及び修正されました。

1. 例外処理

Exceptionコマンドにより、例えばsendercheck等のシステムデフォルト設定に対し、指定した条件に基づいて例外処理を設定する事が可能になりました。

2. Administration Suite

MOS4.1.4-GAに於いて、TcpConnection制御(※2)が有効になっている場、Mirapointへログインすると、システムが再起動が発生する不具合がありましたが、このバージョンで修正されました。

(※2) TcpConnection制御

「netif get limittcpconnectcount ""、 netif get limittcpconnectrate ""」がonで有効状態

3. SP1 patch

MOS4.1.4-GAに於けるD4_1_4_SP_1 patchの修正内容が本バージョンにincludeされました。

■MOS4.1.5-GA 既知の問題

MOS4.1.5-GAに於いて、次の問題が見つかっております。

1. AutoReply

・AutoReply機能をIdap連携させた場合、Idap側に更新内容が反映されません

2. コネクションログ

SSHによるログインのアクセス元IPが、コネクションログに記録されません。

3. フィルター

EnvelopeToを条件に指定した場合、フィルターが機能しません。

4. NDMP

SelectiveRestoreを行った場合、次の項目が戻りません。

・ユーザスパム関連設定(WhiteList, BlackList, WhiteListTo)

・メッセージフラグ

(注)サポート対象Backupサーバソフト: NetVault8.2、NetBackup6.5

5. IP変更

AdministrationSuiteからシステム本体のIPアドレスの変更が出来ません。

シリアルコンソール経由かフロントパネル操作にて変更する必要があります。

■MOSバージョンアップの前に

バージョンアップの実施に際して、次の点にご注意ください。

- 注1) バージョンアップ進行中は、システムを再起動しないでください。バージョンアップ終了後に自動的に再起動が実施されます。尚、バージョンダウンは出来ません。
- 注2) ブランディングを実施されている場合、事前に現在のブランディングファイルを取得しておき、バージョンアップ終了後に再適用してください。尚、古いMOSバージョンのブランディングは引継げない可能性があります。その場合は、お客様ご自身にてブランディングを再作成して頂く必要があります。
- 注3) クラスターシステムをバージョンアップする場合、クラスターを解除後(Standby 停止後)にバージョンアップを実施してください。
- 注4) スプールサーバをバージョンアップする場合、事前にシステムのフルバックアップを実施される事をお勧めします。RazorGate シリーズの場合は、システムコンフィグを事前にバックアップしてください。
- 注5) MOSバージョンアップを実施するには、Upgrades Allowed ライセンスが必要です。ご使用中のMirapoint にインストールされている事を事前にご確認ください。

```
CLI > license status
```

```
Upgrades Allowed
```

■MOS4.1.5-GA の入手先

メーカーFTP サイトからモジュールをダウンロードしてください。

ダウンロードしたモジュールは、バージョンアップ対象のMirapoint からアクセス可能なネットワーク上のanonymousFTP サーバ、若しくはHTTP サーバに一旦保存してください。

入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/R4_1_5_GA.mpu5

■MOS4.1.5-GA へのバージョンアップ方法

事前にサービスを停止し、必要に応じてBackupを実施した上で実行します。

① Mirapoint にadministratorでコマンドログイン

② update install コマンドを実行

<anonymousFTP サーバをご利用の場合>

```
CLI > update install ftp://ftp サーバのFQDN(/パス)/ファイル名
```

<HTTP サーバをご利用の場合>

```
CLI > update install http://http サーバのFQDN(/パス)/ファイル名
```

実行例)

②-1. update install コマンドを実行

```
CLI > update install http://192.168.xxx.xxx/mirapoint/ R4_1_5_GA.mpu5
```

②-2. 上記コマンド実施後、次のメッセージが表示されますので「y」を入力

```
Some updates can automatically reboot the system. Continue? (y/n)
```

※インストール完了後、Mirapoint は自動的に再起動します

③ バージョン確認

再起動完了後、administratorにて再度コマンドログインしバージョンを確認します。

```
CLI > version (MOS4.1.5-GAと出力されればバージョンアップは完了です)
```

■Patch

MOS4.1.5-GAへバージョンアップ後、次のPatchの適用をお勧めします。

適用は、MOSバージョンアップと同様にupdate installコマンドを用いて実行します。

(バージョンアップ方法の項参照)

・D4_Adjust_SMTP_Params

smtp通信終了後、相手側MTAに対してQUIT コマンドを即発行するPatchです。

※smtp再起動

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/mert/D4_Adjust_SMTP_Params.mpu5)

※ 本Patch のみupdate install 時にオプションを指定する必要があります。

```
CLI > update install http://192.168.xxx.xxx/mirapoint/D4_Adjust_SMTP_Params.mpu5?timeQuit=120s&cacheSize=0
```

・E4_antivirus_DA

VirusCheckに於いて、passwordで保護された添付ファイルをスキャンした場合、デフォルト動作のスキャンが失敗したとのメッセージが対象メールの本文に挿入されます。このメッセージ挿入を実施させない場合に本パッチを適用します。※サービス再起動なし

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/E4_antivirus_DA.mpu5)

・D4_1_5_dns

MOS4.1.5-GAに於いて、Mirapoint内のnamedデーモンがある条件下で正常に機能しなくなる可能性があります。本パッチはその不具合を修正します。※システム再起動発生

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/D4_1_5_dns.mpu5)

■お問い合わせ窓口

日商エレクトロニクス株式会社
ソリューションパートナー事業本部
技術統括部 サポートグループ
e-mail: mp-tech@nissho-ele.co.jp

以上